

特別調査 「人手不足下における中小企業の人材活用策について」

問1. 少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、**女性**の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める**女性**の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、**女性**が最も活躍していらっしゃる職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	割 合					最も活躍している職務分野				
	10%未満	10%以上～ 30%未満	30%以上～ 50%未満	50%以上～ 70%未満	70%以上	営業・販売 接客	総務・経理 庶務	企画・管理 研究開発	製造・生産 現場作業	その他
合計（構成比）	43.9	11.6	15.0	11.0	18.5	29.5	34.1	1.1	29.5	5.8
合計件数	76	20	26	19	32	51	59	2	51	10
製 造	12	4	7	2	13	0	6	0	28	4
卸 売	1	3	2	1	0	1	4	1	1	0
小 売	14	4	9	13	14	38	8	0	5	3
サ ー ビ ス	10	6	7	3	5	11	12	0	8	0
建 設	39	3	1	0	0	1	29	1	9	3

* 従業員に占める女性の割合については、「10%未満」が43.9%、「10%以上30%未満」が11.6%と過半数以上を占め、「70%以上」も18.5%を占める結果となった。業種別では、製造業やサービス業で女性の比率が高い企業がみられた。一方、建設業では女性の比率が低く業種間で差が見られた。女性が活躍している分野では、「総務・経理・庶務」が34.1%と最も高く、「営業・販売・接客」・「製造・生産・現場作業」が同率の29.5%と続いた。小売業では「営業・販売・接客」、製造業では「製造・生産・現場作業」、建設業では「総務・経理・庶務」が多くなっている。

問2. 問1と同様、**高齢者**（ここでは60歳以上を想定）の活躍推進について、貴社の従業員数に占める**高齢者**の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、**高齢者**が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	割 合					最も活躍している職務分野				
	10%未満	10%以上～ 30%未満	30%以上～ 50%未満	50%以上～ 70%未満	70%以上	営業・販売 接客	総務・経理 庶務	企画・管理 研究開発	製造・生産 現場作業	その他
合計（構成比）	42.8	29.5	9.8	8.7	9.2	26.0	8.1	0.0	52.0	13.9
合計件数	74	51	17	15	16	45	14	0	90	24
製 造	13	15	5	4	1	2	1	0	33	2
卸 売	2	4	0	0	1	4	1	0	1	1
小 売	22	12	2	8	10	24	8	0	11	11
サ ー ビ ス	17	7	3	2	2	13	2	0	11	5
建 設	20	13	7	1	2	2	2	0	34	5

* 高齢者の割合については、「10%未満」が42.8%、「10%以上30%未満」が29.5%となり、業種間でも大きな差は見られなかった。高齢者が活躍している分野では、「製造・生産・現場作業」が52.0%と最も多く、次に「営業・販売・接客」が26.0%となっている。業種別では、製造業と建設業で「製造・生産・現場作業」が多く、小売業とサービス業では「営業・販売・接客」が多くなっている。

問3. 問1と同様、**外国人**の活躍推進について、貴社の従業員数に占める**外国人**の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、**外国人**が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1~5、6~0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	割 合					最も活躍している職務分野				
	10%未満	10%以上～30%未満	30%以上～50%未満	50%以上～70%未満	70%以上	営業・販売 接客	総務・経理 庶務	企画・管理 研究開発	製造・生産 現場作業	その他
合計(構成比)	98.8	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	6.9	92.5
合計件数	171	1	0	0	1	1	0	0	12	160
製 造	36	1	0	0	1	0	0	0	7	31
卸 売	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
小 売	54	0	0	0	0	1	0	0	3	50
サ ー ビ ス	31	0	0	0	0	0	0	0	1	30
建 設	43	0	0	0	0	0	0	0	1	42

* 外国人の割合については、「10%未満」が98.8%となり、外国人の活用はほとんどない状況となっているが、製造業、小売業で若干の活用状況が見られる。外国人を活用している業種別では、ほとんどが「製造・生産・現場作業」となっている。小売業では、「営業・販売・接客」での活用も見られた。

問4. 女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。あてはまるものを以下の1~9よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	女性の活躍			高齢者の活躍			外国人の活躍		
	増やす方針	どちらとも いえない	減らす方針	増やす方針	どちらとも いえない	減らす方針	増やす方針	どちらとも いえない	減らす方針
合計(構成比)	8.1	91.3	0.6	8.7	83.8	7.5	0.6	96.5	2.9
合計件数	14	158	1	15	145	13	1	167	5
製 造	4	33	1	6	29	3	0	36	2
卸 売	1	6	0	3	4	0	0	7	0
小 売	4	50	0	1	52	1	1	53	0
サ ー ビ ス	4	27	0	3	24	4	0	29	2
建 設	1	42	0	2	36	5	0	42	1

* 女性、高齢者、外国人の活躍推進については、「どちらともいえない」が女性(91.3%)、高齢者(83.8%)、外国人(96.5%)と高い数値となった。女性の活躍については、「増やす方針」が8.1%、「減らす方針」が0.6%となり、今後、活躍の場が広がっていくことが期待できる。高齢者では、「増やす方針(8.7%)」と「減らす方針(7.5%)」が拮抗した。外国人では、「減らす方針(2.9%)」が「増やす方針(0.6%)」を上回った。

問5. 政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを以下の1~0より3つ以内で選んでお答えください。

(単位:件・%)

	同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善	賃金引き上げと労働生産性の向上	長時間労働の是正	柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成	テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	女性・若者が活躍しやすい環境整備	高齢者の就業促進	病後の治療、子育て・介護と仕事の両立	外国人材の受入れ	特がない
合計(構成比)	8.7	25.4	16.2	8.1	1.2	24.9	16.2	5.8	1.2	43.4
合計件数	15	44	28	14	2	43	28	10	2	75
製造	4	16	6	6	1	10	6	2	0	13
卸売	1	2	0	1	0	2	4	1	1	1
小売	3	6	5	2	1	18	9	4	1	31
サービス	2	6	7	1	0	7	3	2	0	14
建設	5	14	10	4	0	6	6	1	0	16

*「働き方改革実現会議」の課題で、今後、注力しようと考えている項目については、「賃金引き上げと労働生産性の向上」が25.4%と最も高く、次に、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」が24.9%、「長時間労働の是正」・「高齢者の就業促進」が16.2%、「同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善」8.7%、「柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成」8.1%と続いた。

～調査員のコメントから～

- 原材料の高騰や天候不順の影響で売上は停滞している。(製造業)
- 人手不足が続いている、人材確保及び人材育成が急務。(製造業)
- 需要少ない時期で本州方面からの受注も減少。在庫やや過剰となっている。(製造業)
- 昨年は漁業の総体的な不漁となったが、年明けスケソ漁好調で業況回復。(製造業)
- 道外工事をメインとしている、請負価格も高く、業容安定続いている。(建設業)
- 同業者との競合増しているが、工事原価管理の徹底で売上・収益確保。(建設業)
- 個人住宅新築工事の受注順調、夏頃まで多忙の業況続く。(建設業)
- 工事減少により従業員の削減行っている。(建設業)
- 取引先(地元小売業)減少の影響は大きく、売上の減少続いている。(卸売業)
- 販売先減少、販売額交渉を継続。販売先の確保が重要課題となっている。(卸売業)
- メディア広告に力を入れている。管外からの来店客増加。(SNSを見ている)(小売業)
- 販売不振から現業廃止し、異業種へ転換する。(小売業)
- 品揃えを改善し、展示会を積極的に展開し売上は上向いている。(小売業)
- 取扱商品を増やし、レンタル業務を開始。ネット売り上げは好調維持。(小売業)
- 漁業不振の影響で、常連客の客単価も減少。売上減少続いている。(サービス業)
- 3月は多忙な月となり、残業も増加する、労働環境を整備している。(サービス業)
- 中古車販売は順調だが、新車は不調。若手職員の育成に力を入れる。(サービス業)
- 人口、取引先の減少や都市部への顧客流出が続いている、サービス業務の強化で打開を図る。(サービス業)